

「コンパス薬物速度論演習」

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成 25 年度改訂版）対応一覧

2015.3（株）南江堂

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム		本書の対応章
E 医療薬学		
E4 薬の生体内運命		
(2) 薬物動態の解析		
①薬物速度論	1. 線形コンパートメントモデルと、関連する薬物動態パラメータ（全身クリアランス、分布容積、消失半減期、生物学的利用能など）の概念を説明できる。	1 章, 2 章
	2. 線形 1-コンパートメントモデルに基づいた解析ができる（急速静注・経口投与 [単回および反復投与]、定速静注）。（知識、技能）	2 章
	3. 体内動態が非線形性を示す薬物の例を挙げ、非線形モデルに基づいた解析ができる。（知識、技能）	8 章
	4. モーメント解析の意味と、関連するパラメータの計算法について説明できる。	7 章
	5. 組織クリアランス（肝、腎）および固有クリアランスの意味と、それらの関係について、数式を使って説明できる。	5 章
	6. 薬物動態学-薬力学解析（PK-PD 解析）について概説できる。	2 章
② TDM (Therapeutic Drug Monitoring) と投与設計	1. 治療薬物モニタリング (TDM) の意義を説明し、TDM が有効な薬物を列挙できる。 2. TDM を行う際の採血ポイント、試料の取り扱い、測定法について説明できる。 3. 薬物動態パラメータを用いて患者ごとの薬物投与設計ができる。（知識、技能） 4. ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。	9 章